感動いっぱい　夢いっぱい

平成29年9月11日　No. 16

廊下には，夏休みに子ども達が製作した工作や，実験・観察をしたり本で調べたりしてまとめた科学研究や自由研究が展示してあります。特に科学研究等は，子どもだけでは難しいものです。お家の方の，ご協力があったから完成したのだと思います。ありがとうございました。明日の，参観日ご覧ください。

校内自由研究発表会から　　９月６日（水）

１年　Ｏ・Ｓ　「からふる　いろまぜ」

絵の具（赤・白・青・黄）の混ぜ色の組合わせを変えると，何色になるかを実験しました。

全校生徒の前で，堂々と発表することができていて感心しました。何よりも，練習に熱心に取り組み，その成果を十分に発揮することができたことを自分自身が感じたことが，良い経験になりました。挑戦してよかったですね。　（辻先生から）

２年　Ｙ・Ｈ　「こおりを　はやくとかすには」

塩やさとう・水・そのまま，１番早く溶けるのはどれかを実験しました。ジュースではどうかも追加実験しました。ていねいな文字で読みやすくまとめました。根拠のもと予想を立てて実験しました。練習をくりかえし，言い直しをしたり，説明に付け加えたりしをしていたのには感心しました。（中原先生から）

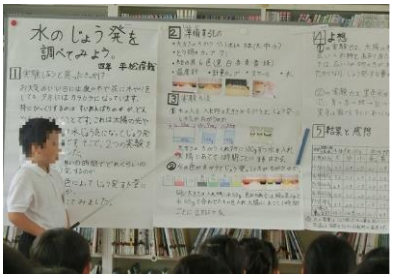
３年　Ｍ・Ｓ　「日光って大事なの？」

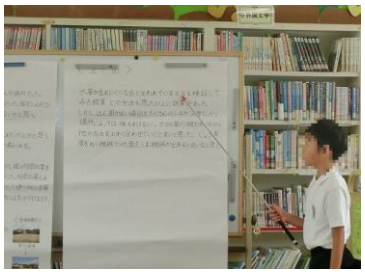
テレビで植物の成長には，日光が大切なことを知りました。日光が当たらないと成長がどう変わっていくのかを，比較実験しました。カイワレ大根で，５日間の成長を調べました。日光に当てたのは緑色でしっかり育ちましたが，当てないのは長さは同じでも黄緑色で弱々しかったです。発表も大きな声でできました。（藤澤先生から）

４年　Ｈ・Ｓ　「水の蒸発を調べよう」

入れ物の大きさや色水で，蒸発の仕方が違うかを調べました。

２種類の実験を，１時間ごとに比べ，細かく調べることができていました。まとめ方も，表とグラフを使ったので，聞いている人にも分かりやすかったです。発表の声も大きく，指示棒を使っての説明も分かりやすかったです。（藤澤先生から）





５年　Ｍ・Ｙ　「雑草を生えにくくする方法の検証」

身近なことから問題を見つけて，実験観察をしました。庭に雑草が生えて困っている先生方が，真剣に聞いていました。発表ではクイズを出したりていねいに話したり，また，聞いている人の様子を見たりしながら伝えることができました。１ヶ月間観察を続けたことが，すばらしいです。（畠中先生から）

６年　Ｋ・Ｉ　「電気の力を音に変えて，電子オルゴールの音を鳴らす実験」

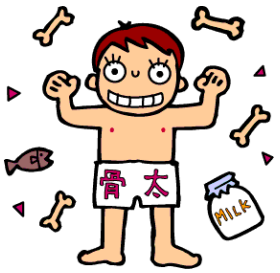
ブレッドボード，光センサー，メロディーＩＣ等を使って，電子オルゴールを作ったことを発表しました。小さな部品も多く製作するのは大変だったと思います。

発表では，難しい言葉が多いので，少しでも分かりやすくするために，実演しながら伝えました。低学年の人も興味をもって聞いていました。（畠中先生から）

保健指導から

養護教諭の三宅先生と，**「骨コツと　じょうぶな　骨をつくろう」**をめあてに，骨についての学習をしました。

骨の４つの働き（①体を支える　②大切な部分（脳・内臓等）を守る　③背髄の働き　④カルシウムの大切さ）を学んだ後，**骨密度計**で自分の骨密度を知ったり，骨を丈夫にする方法について学んだりしました。



「もし体に骨がなかったら？」
ベタァ～

骨密度計で自分の骨の様子をはかりました。

カルシウムの貯金出来る時間は短い。だから，毎日カルシウムを取らないといけないんだね。

骨を丈夫にする方法
～骨コツ貯金～
①日光を浴びて運動
②早寝・早起き・朝ごはん
③カルシウム
　ビタミンD・Kの食品を
④スナック菓子や炭酸飲料はカルシウムの敵！

英語科の学習について

「Hello　How　are　you?」「I'm　good!」　学習の始まりは，英語でのあいさつからです。中学年の英語科の学習の様子です。その時は４時間目だったので，ほとんどの児童が*「I　'm　hungry!」*

英語科の学習は，ＮＥＴのステファニー先生と担任でします。ステファニー先生は全て英語で。伝わるかどうかの心配は無用。身振り手振りも交えてしてくださるので，子ども達も大体を理解することができます。

「話したり聞いたり，音声で英語に慣れ親しむことができること」「英語を使って，友達とのコミュニケーションをとることができること」　先生や友達と会話をしたりゲームをしたりして，英語に親しんでいくのが目標です。

楽しい中でも，「発音」は正しくします。英語科のスタートです。ＮＥＴの先生の発音・口の形を耳と目に焼き付けます。この日は「ｆ」とか「ｊ」などの発音を繰り返ししました。

「Do　you　have　a　pen?」「Yes　I　do」「No　I　don't」　質問する人と答える人に分かれて。また，pen を book　pencil　eraser　notebook・・・に変えて，繰り返し言います。スペルの練習はしません。歌いながら覚えたり，ゲームをしながら覚えたりと，リズムよく４５分が過ぎていきました。

「How are you?」
「I'm good!」

「Do you have a pen?」
「Yes　I'do」

「Do you have a pen?」
「ペンパイナッポーアッポーペン」

「持っているから　Yes
これは　No になるかな」

平成３２年度から，新学習指導要領が実施されます。大きな変更の一つは「英語科」が教科として完全実施されることです。倉敷市は，他地域と違い，十数年前から英語科の「特区」に指定されて，年間計画に基づいて，NET と担任とが授業をすすめてきています。その分，子ども達にとっては，急な変化ではないでしょう。

しかし，学習時間数は増えます。平成３２年度（３年後）には，中学年は３５時間（１８時間）高学年は７０時間（３５時間）〔（　）は今年度の時間〕になります。また，統一された教科書を用いての教科になります。増えた時数分ですが，他の教科の時数を削ることはなく，例えば水曜日の５校時を６校時にしたり，１５分間の短い時間を設定して学習したりすることが考えられています。H30・３１年度と移行期間を設け徐々に時間数を増やしていくことにもなります。